

### 第3学年 社会科学習指導案

1 単元名「はたらく人とわたしたちの暮らし」 小単元「店で働く人と仕事」

2 指導に当たっては、次の手立てをとる。

#### 【着眼1】地域教材の工夫

本単元では、販売の仕事として、1学期に行った校区探検で見た経験があり、また児童自身が利用経験の多い校区にあるスピナ戸畑店を取り上げる。実際にスーパー見学に行って予想を確かめたり、店長さんにインタビューをしたりして、主体的に問題解決を行えるようにする。さらに、スーパー見学では見られない時間帯によるお店の工夫について、授業で考える場を設定し、知らなかった工夫が分かる喜びを味わえるようにしたい。

#### 【着眼2】問題解決的な学習過程の工夫

まず、つかむ過程では、宿題で行う買い物調べの結果と「1日に1000人のお客さんが来ます」という具体的な店長さんの話から、「スーパー（スピナ戸畑店）にたくさんのお客さんが来るひみつ探ろう」という学習問題と学習計画を立て、見直しをもって問題解決ができるようにする。次は、さぐる・考える過程では、ひみつを予想し、その予想を確かめるためにグループ（〇〇探検隊）に分かれてスーパー見学を行い、調べたことをまとめ、発表して、たくさんのお客さんが来るためのお店の工夫をクラス全体で共有していく。その後、新たな工夫に気付くことができるように、昼のスーパー見学では見られない夕方の客の層と値引き率の高い商品が見られる資料を提示して、夕方の販売のひみつについて考える時間を設定する。最後に、いかす・まとめる過程では、スーパー以外のお店での買い物の仕方にもふれ、よりよい買い物をするためにその人の生活に合わせて買い物の仕方を工夫していることを捉えさせたい。

#### 【着眼3】社会的な見方・考え方を働かせた表現活動の工夫

時間帯による違いがみられる資料から分かること（事実）を全体でしっかりと読み取り、その理由（根拠）を考える場面では、違う理由を比べながら気付いたことをグループで話し合いができるように、ホワイトボードを活用する。話し合いを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、（売り上げを高められるよう）工夫して行われていることに気付き表現できるようにする。

### 3 単元の目標

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 販売の仕事は、消費者の願いを踏まえて、販売の仕方（品ぞろえ、値段など）を工夫していることを理解している。</li><li>○ スーパーマーケットの見学やインタビュー活動を通して調べたことを的確にまとめることができる。</li></ul>
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を消費者の願いと関連付けて考え、適切に表現することができる。</li></ul>
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"><li>○ スーパーマーケットに多くの消費者が訪れるひみつについて、予想・学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に問題を追究し、解決しようとしている。</li><li>○ 学習したことをもとに、自らの買い物の仕方に関心を高め、これからの生活に生かそうとしている。</li></ul>

4 指導計画（総時間数 11時間）

学習活動	○ 主な指導上の留意点	【観点】評価規準
<p>1 家の人の買い物の様子について話し合い、買い物調べの計画を立てる。①</p> <p>2 買い物調べの結果について話し合い、学習問題を設定し、予想を立てる。②</p> <p>3 スピナ戸畑店の見学計画を立てる。①</p>	<p>○ 日頃どのような買い物をするか調べる意欲を高めることができるように、家の人はどこでどんなものをいつ買っているのか、自分の買い物の経験を交流する活動を設ける。</p> <p>○ スーパーマーケットにたくさんのお客さんが訪れるひみつ（工夫）について予想をもつことができるように、予想を話し合う活動を設定する。</p> <p>○ 6つのグループに分かれて、それぞれがスーパーマーケットのひみつについて調べられるように、タブレットで撮影する人、インタビューする人などの役割を決めておく。</p>	<p>【主】 スーパーマーケットに多くの消費者が訪れるひみつについて、予想・学習計画を立てて、主体的に問題を追究しようとしている。</p> <p>（発言、買い物調べのワークシート・ノート）</p>
<p><b>学習問題</b> スピナ戸畑店にたくさんのお客さんが来るひみつを探ろう。</p>		
<p>4 予想をもとにスーパーマーケットの見学を行い、ひみつを見つける。①</p> <p>5 スーパーマーケット見学を通して、分かったことをまとめ、交流する。③</p> <p>6 夕方になると、お弁当やお惣菜が特に安くなる理由について客層と関連付けながら話し合う。① <b>（本時）</b></p> <p>7 スーパーマーケットに並ぶ商品の仕入れについて調べ、まとめる。①</p>	<p>○ ひみつを見つけることができるように、店内の様子や働く人の様子を写真で記録したり、お店の人にインタビューしたりする。</p> <p>○ どのひみつにもお客さんの願いに応えようとする販売者の思いがあることに気付けるように、グループごとに見つけたひみつを模造紙にまとめて、全体で交流する。</p> <p>○ スーパーマーケットの見学では気付けない、夕方の販売の工夫について考えることができるように、時間帯による値段や客の層の違いが分かる資料を提示し、話し合う場を設定する。</p> <p>○ 身近な地域だけではなく、国内の他地域や海外との関わりをとらえることができるように、産地が記されている段ボールを並べ、商品の仕入れ先をタブレットの白地図にまとめる活動を設定する。</p> <p>○ なぜ同じ商品でも異なる地域のものを仕入れているのかを問うことで、消費者の願</p>	<p>【知・技】 スーパーマーケット見学やインタビューを通して調べたことを的確にまとめている。</p> <p>（模造紙のまとめ、発言）</p> <p>【思・判・表】 販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を消費者の願いと関連付けて考え、適切に表現している。</p> <p>（発言、ノート）</p> <p>【思・判・表】 時間帯によって販売の仕方を変えることで、消費者の願いに応えようとする販売者の工夫について、考え表現することができる。（発言・ワークシートの記述）</p> <p>【知・技】 販売の仕事は、消費者の願いを踏まえて、販売の仕方（品ぞろえ、値段など）を工夫していることを理解している。（発言、ノート）</p>

	いに応えるため、国内外から商品を仕入れていることを考えることができるようにする。	
8 スーパーマーケット以外の店やその販売方法について調べ、自分の今後の買い物について考える。①	○ 自分自身の今後の買い物について考えることができるように、「自分がお客さんだったら」という視点で学習を振り返る場を設定する。	【主】 学習したことをもとに、自らの買い物の仕方に関心を高め、これからの生活に生かそうとしている。(発言、ノート)

5 本時の学習

(1) 日時 令和5年9月27日(水) 5校時 於 3年3組教室

(2) 主眼





昼間とは違って夕方には、値引き率の高い商品が販売されている理由について、客層と関連付けながら話し合う活動を通して、時間帯によって販売の仕方を変えることで消費者の願いに応えようとする販売者の工夫について考え、表現することができる。

(3) 準備

教師：時間帯による違いが見られる資料、ワークシート、ホワイトボード、付箋、学びの足あと

(4) 展開

主な学習活動・内容	○ 指導上の留意点 【観点】評価基準(評価方法)
1 前時までの学習をふり返る	○ 学びの足あとを見ながら、前時までに学習した6つの販売のひみつについて振り返る場を設定する。
2 来店する客の層の違い、値引き率の高い商品の写真を見て、気付いたことを発表し、本時のめあてをつかむ。	○ どうして夕方になるとお弁当などは安くなるのかという疑問が生まれるように、昼間とは違う夕方の客層と値段の違いを全体で捉え、めあてにつなげていく。
(めあて) スピナ戸畑店には、仕事帰りのお客さんが多く来る夕方に、お弁当やおそうざいを特に割引して安く売っているのはどうしてだろう。	
3 理由を考える。 (1) 個人思考 (2) グループでの話し合い	○ 理由を予想し、付箋に書くように声掛けをする。 ○ 予想が難しい児童には、「なぜ、他の商品ではなく、お弁当やおそうざいを安くしているのかな」と声掛けを行い、考えられるようにする。 ○ 個人で書いた付箋をもとに、それぞれが考えた理由を比べながら、気付きや新たに考えた理由を話し合うためにホワイトボードを活用する。
4 話し合ったことを基に自分の考えを再構成する。	○ 前時にまとめた「昼間の工夫(お客さんの願いに応えようとしている)」と比べて考えるとどうかな」と問い、昼間とつないで夕方も同じように工夫していることについて考えられるようにする。 【思・判・表】 時間帯により販売の仕方を変えることで、消費者の願いに応えようとする販売者の工夫について、考え表現することができる。(発言・ワークシートの記述)

個人	→	小グループ
<p>夕方に買いに来る人たちは、家に帰る途中で寄る人が多いと思う。</p> 	<p>お客さんにとっては、とても助かるし、うれしいはずだね。</p> <p>仕事でつかれているときに、安くておいしいものを買って食べたいと思っている人が多く来るからかな。</p> 	<p>お店にとっても、売れ残らないようにたくさん売ることができるね。</p> <p>どうして夕方は、お弁当やおそうざいを特に安くして売っているのだろう。</p> 
<p>夕方に来るお客さんに合わせて、商品を売る工夫をしていることがわかった。昼間と夕方で商品を売る工夫をしているから、お客さんがたくさん来るんだね。</p> 		

(まとめ) スピナ戸畑店では、昼間と同じように、夕方もお客さんの願いにこたえようといろいろな工夫をしている。

5 本時の学習をふり返る。

○ 個人で感じたことや分かったことを振り返る中で、スーパーマーケットの見学では気付けなかったことを見つけることができたと振り返った児童を意図的に指名する。